

事 務 連 絡
平 成 2 7 年 1 2 月 1 7 日

一般財団法人放射線利用振興協会 御中

文 部 科 学 省
研究開発局研究開発戦略官
(新型炉・原子力人材育成担当)付

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。評価基準等については、別に定める「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価について」を御参照願います。

課題名	教育現場の放射線危機管理能力向上のための人材育成
実施機関	一般財団法人放射線利用振興協会
実施期間	平成24年度～平成26年度

【評価結果】

B	ほぼ計画通りの成果があげられた
---	-----------------

【審査評価委員会所見】

＜推奨意見＞

●教職員を目指す大学生及び教職員を対象に、放射線の正しい理解を促進するためのカリキュラムを開発するとともに、当初計画からコスト抑制を心掛けつつ連携大学の拡大に努め、多くの参加者に学びの機会を提供できた点が評価できる。またアンケート結果から、多くの参加者が本事業の意義を認識していることから、本事業が参加者の意識向上に有効であったと見受けられる。今後、本事業を通して参加者の知識理解の定着のみならず、学校現場での活用といった良い波及効果がもたらされることを期待する。

●本事業が、放射線取扱主任者等の公的資格の取得や、原子力関係機関への就職を志す学生の動機づけに繋がっていると見受けられる点も評価できる。

＜今後への参考意見＞

●基本的事項の理解が難しい参加者へのフォローが十分でないと思われる。参加者の専攻等を考慮しながら、受講生が理解しやすい講義方法等に努めていただくとともに、大学等と更なる連携を進めながら研修の単位化を行う等、参加者にインセンティブを与える仕組みが整備されることが望まれる。

●本事業で開発した教材の積極的な公表や講師派遣、機材提供等の活動を通して連携大学の更なる拡大に努めていただきたい。